

東三河農産加工販売協同組合

夢は一大産地化 商品開発でブルーベリーの魅力発信

東三河地域のブルーベリー栽培の一大産地化を目指し、オフシーズンでも収益を上げられるジャムや酢などの商品開発と販路開拓に取り組む。

住 所	(〒441-1331) 愛知県新城市庭野字萩野23番地		
電 話 番 号	0536-22-0175	U R L	http://www.hnk.or.jp/
設 立	平成23年12月	F A X 番 号	0536-22-0175
組 織 形 態	同業種同志型組合	出 資 金	1,570千円
主 な 業 種	耕種農業	地 区	豊川市、新城市
組 合 専 従 者	—	組 合 員 数	15人

背景と目的

農家の経営安定を実現するためには、経営の多角化を図りながらも、農業経営に付加価値をつけて行く必要があり、生産物だけに依存せず、加工、販売を視野に入れた「6次産業化」を進めることが重要である。

加えて、ブルーベリーが健康的で栄養価も高いものであり、東三河地域が栽培に非常に適した土地であることを生産者の組合員が実感し、当該地域一帯をブルーベリー栽培の一大産地にするという夢を持ち、平成22年から代表理事が中心となって商品開発と魅力の発信並びに販路開拓を図っている。

事業・活動の内容

ブルーベリーは収穫時期が夏の2ヵ月程度と限られているため、オフシーズンになると、冷凍保存したものでは収益が上がらないという問題を抱えていた。そこで平成24年2月に当組合を設立し、農林水産省の「6次産業化」の認定を受け、年間を通じて販売できる「ブルーベリー酢」の開発に取り組んできた。

また、収益確保のため、ブルーベリーとハuckleベリーをコラボした「ミックスジャム」を開発し、新たに休耕田対策用として栽培しているマコモ（イネ科の水生植物）若葉の「粉末加工品（茶等）」や「ブルーベリー茶」等の商品開発も目指している。

他にも、ブルーベリーの魅力の発信と理解を深めてもらうために、任意グループの「東三河ブルーベリー倶楽部」を結成、参加者は農業経営者だけに限定せず、家庭菜園として、退職後の副業として考えている人などを幅広く募り、栽培方法を学び、収穫の喜びを分かち合う倶楽部として活動を行っている。

成果

6次産業化の認定により、信頼度が向上した結果、ブルーベリー酢とジャムのセットが地元百貨店「丸栄」の中元商品に選ばれることとなった。また、組合設立後、事業趣旨に賛同し、7人が加入するなど、組合員が大幅に増えている。組合員に至っては、6次産業化の認定により、自分たちの取組みが正当に評価されたことに自信をもつことができたほか、地域の贈答品ショップ、オンラインショップでの販売により売上も増加している。



ブルーベリー（東三河産）



「ブルーベリー酢」と「ジャム」のセット
（地元百貨店丸栄の中元商品に選ばれる。）